

平成28年度 国民体育大会 村山地区・最北地区高等学校 陸上競技予選会  
競 技 注 意 事 項

1 本大会に適用する競技規則は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次による。

- (1) 少年男子共通 110mハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14m とする。
- (2) 少年女子B 100mハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.762m／8.5m とする。
- (3) 少年男子B 砲丸投の砲丸の重さは、5.0kg とする。
- (4) 少年女子B 砲丸投の砲丸の重さは、4.0kg とする。
- (5) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.75kg とする。
- (6) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.0kg とする。

2 招集について

- (1) 招集場所は、バックスタンド裏の北側（掲揚台の北側）とする。
- (2) 招集開始時刻、招集完了時刻、現地集合時刻は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

招集完了時刻になっても点呼を受けていない場合は、欠場扱いとして処理する。

	招集開始時刻	招集完了時刻	現地集合時刻
トラック競技	30分前	20分前	10分前
跳躍競技	40分前 (棒高跳は60分前)	30分前 (棒高跳は50分前)	20分前 (棒高跳は40分前)
投てき競技	50分前	40分前	30分前

※ ただし、少年男子B 3000mの2組目の招集完了時刻は競技開始5分前、  
現地集合時間は競技開始5分後とする。

- (3) 招集所で点呼を受けた競技者は、(2)の時刻までに各種目のスタート地点やピット (現地)に各自で移動し、競技役員の点呼を受け、指示に従うこと。
- (4) 競技を欠場する場合は、「欠場届」(用紙は招集所に準備)を招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出すること。
- (5) 招集完了時刻に別種目に出場している場合は、「二種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)を招集開始時刻までに招集所に提出すること。

3 投てき競技の競技会場について

砲丸投・やり投                    主競技場 (NDソフトスタジアム山形)  
円盤投・ハンマー投            サブグラウンド (山形県総合運動公園補助陸上競技場)

#### 4 ウォームアップ場（練習会場）について

##### (1) サブグラウンドについて

円盤投とハンマー投の競技が行われるため、競技の進行を優先する。

- ①事故防止のため、サブグラウンドのフィールド内芝地でのウォーミングアップは禁止する。
- ②円盤投とハンマー投の試技中は、サークル周辺のトラック部分約 100mを進入禁止とする。

##### (2) 運動広場について

円盤投とハンマー投の練習会場とする。監督の責任において安全に配慮して行うこと。

##### (3) 雨天走路について

事故防止のため練習会場としては開放しない。

ただし、荒天時については安全に配慮した上で、ジョグとストレッチのみの使用を認める場合がある。

#### 5 競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳のポールを除いては、主催者の用意した物を使用すること。

#### 6 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
男子共通走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後 3cm
※ 女子 走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後 3cm
男子 A 棒高跳	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後 10cm
女子共通棒高跳	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	以後 10cm

※成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできるので、本大会で実施する。

(少年Aのみエントリー可。)

なお、開始の高さは変更することがある。

#### 7 長さを競う跳躍競技及び投てき競技は、すべて3回試技とする。

#### 8 その他

競技中の事故について、主催者は応急処置を行うが、以後については各自の責任で対応すること。

# 国体県予選会（7月8日～10日）の出場資格について

- 1 国体県予選会申込締め切り期日 平成28年6月29日（水）午後5時必着  
 国体県予選会は、県選手権大会と兼ねて実施する。  
 詳細は、山形陸協のウェブサイトに掲載される大会の実施要項で確認すること。

2 国体県予選会出場資格および出場人数枠

＜国体県予選（県選手権）の資格記録の有効期間＞

平成27(2015)年4月2日から平成28(2016)年6月28日までの間に、参加標準記録を突破している者。ただし、公認記録に限る。

**（1）男女少年A種目および男女少年共通種目**

以下の参加標準記録を突破していること。

県高体連参加標準記録（国体予選会少年の部の種目にのみ適用）

《男子》		標準記録	《女子》		標準記録
A	100m	11" 40	A	100m	13" 30
A	400m	53" 00	A	400m	1' 05" 00
共	800m	2' 05" 00	成	800m	2' 30" 00
A	5000m	15' 40" 00	共	1500m	5' 00" 00
A	400mH	1' 03" 00	A	3000m	10' 45" 00
共	5000mW	28' 00" 00	A	400mH	1' 15" 00
		(5000mW 5000mで16' 30" 00)	成	5000mW	29' 30" 00
共	走 高 跳	1m 70			(5000mW 3000mで11' 10" 00)
A	棒 高 跳	3m 40	成	走 高 跳	1m 40
A	走 幅 跳	6m 20	共	棒 高 跳	2m 20
共	三 段 跳	12m 40	A	走 幅 跳	4m 80
共	円 盤 投	高校 27m 00	共	三 段 跳	9m 00
A	ハンマー投	高校 27m 00	共	円 盤 投	22m 00
A	や り 投	45m 00	共	や り 投	28m 00

※成年女子800m、成年女子5000m競歩および成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。

**（2）男女少年B種目**

- ① 県高体連が定める標準記録(少年B)を突破したすべての選手に出場資格を与える。  
 ② 標準記録に達していない場合でも、各地区高体連から推薦を受けた者は、国体県予選会に出場できる。各地区高体連の推薦人数枠は、以下のとおり。この場合は、申込み個票（高体連様式）に各地区理事による証明印を必ず押印のこと。

① 県高体連が定める標準記録(少年B)

《男子》		標準記録	《女子》		標準記録
B	100m	11" 60	B	100m	13" 10
B	3000m	9' 20" 00	B	800m	2' 30" 00
共	110mH	中学規格(0.914m/9.14m)16" 50 国体規格(0.991m/9.14m)17" 00 高校規格(1.067m/9.14m)17" 50	B	100mH	中学規格(0.762m/8.00m)16" 50 国体規格(0.762m/8.50m)17" 00 高校規格(0.838m/8.50m)17" 50
B	走 幅 跳	5m 70	B	走 幅 跳	4m 70
B	砲 丸 投	5.0kg 10m 50 6.0kg 10m 00	B	砲 丸 投	(中学)2.721kg 10m 00 (高校・国体規格)4.0kg 7m 00

② 少年B種目及び少年男子共通110mハードルの地区別推薦人数（地区枠）

男子	村山	置賜	最北	田川	飽海	女子	村山	置賜	最北	田川	飽海
トラック	12	7	4	4	5	トラック	12	7	4	4	5
フィールド	3	3	3	3	3	フィールド	3	3	3	3	3

※なお、県大会及び地区の国体予選会では、国体で実施する規格で競技を行う。